



NPO法人 横浜金沢文化協会

しおさい

Homepage <https://www.yk-bunka.com> E-Mail ykbunka@gmail.com

2019年9月号

No.48

(春秋発行)

横浜金沢文化協会の新たな一歩

泥臭くても足元を見据えた手づくりの取組を模索

令和元年度 4つの重点主催事業、参加者募集中！！

参加申し込みは横浜金沢文化協会ホームページから <https://www.yk-bunka.com>

これまで、当協会としては、歴史講演会や文化講演会の実施など、様々な取組を行ってきましたが、どちらかといえば単発的な取組でありました。金沢区の特徴として少なくともこれだけは知っておいて欲しいこと、身近なところで地道に活躍して成果を上げている人々の息吹を感じさせるような営みを紹介すること、誰が見ることもなく街道の片隅にひっそりと佇んでいる歴史的遺産を後世に語り継いでいくことなど、視点を変えて、もっと掘り起こし、常に伝え続けていくことや焦点を当てていくべきものがあるのではないかと考えております。こうしたことを底流に置いたうえで、必ずしもきらびやかでなくてもよい、泥臭くても、足元を見据えた手づくりの取組を模索する時期に来ているのかもしれない。そんな想いで令和元年、次の4つの主催事業に注力してまいります。



HPのQRコード

金沢の自然観察会



金沢はどういう特徴がある土地なのかという視点から、まず、身近なところで見聞きできる自然を体系的に学んでみませんか。講演会を2回開催した後に、実際に野外における観察会を楽しんでいただこうと、2か年にわたる5回連続事業として、企画しました。講師は、日本自然保護協会自然観察指導員の金子昇先生です。金沢区の「街の先生」としても知られており、金沢の自然を知り尽くしている先生は、他にはいないと言われております。第2回講演会は11月1日(13:30～)「季節による植物観察の楽しみ方」と題して、また野外観察会は令和2年4月から3回の開催を予定しています。



かねさわ区民コンサート Vol.1

旧公会堂最後の日「さよならコンサート」の感触が忘れられず、当文化協会では、区民の皆様へ心地よい音楽を聞いていただけるよう毎年コンサートを企画し、開催していただくことになりました。その1回目が10月5日(土)です。金沢区在住の音楽家、その中で、文化協会の会員の方々に出演を依頼。ソプラノ歌手 佐伯葉子さん、クラシックギタリスト 東隆幸さん、そして、合唱界の指導者 川上勝功さんをお願いし、コンサートを開くこととなりました。手探り状態でのコンサートづくりですが、10月5日、新しい公会堂に豊かな音が、ホールいっぱい飛び交うことを願いつつ準備を進めています。



文化講演会「手塚治虫」

—漫画とアニメの先駆者の思い—

朝ドラでも取り上げられている日本アニメの黎明期、漫画からTVアニメに独自の道を切り拓いた手塚治虫の功績を知らない人はいないでしょう。当時、漫画やアニメは低俗なものとして偏見や誤解を受けましたが、今や押しも押されぬ日本文化を代表する存在として海外でも広く知られるようになりました。そんな激動の時代を駆け抜けた手塚の並々ならぬ努力と想いを、一緒に働いた手塚プロダクション社長松谷氏に講演(10月19日14:00～金沢公会堂)いただきます。実際の作品の上映も織り交ぜながら、お子さまにも楽しんでいただける内容です。複製原画も展示します。



©TEZUKA PRODUCTIONS

かねさわ杯区民かるた大会

第2回「かねさわ杯区民かるた大会」を11月9日(土)に開催します。小倉百人一首を使った競技かるたの大会で、金沢区制70周年を記念しスタートしました。区内在住、在学、在勤で小学生以上であれば、経験の有無は問わず誰もが1チーム3人で参加できます。会場は市立金沢中学校格技場、横浜集会の全面協力を得て本格的競技ルールに則って行います。第1回の参加者の声や反省を踏まえ、敗者復活戦の実施や参加賞の準備など、運営方法の見直しを行いました。ご家族、お友達、お仲間を誘って、あなたも競技かるたの世界に触れてみませんか。



畠山重保公顕彰墓参会

当文化協会主催行事の一つである「畠山重保公顕彰墓参会」は、地域住民によって行われてきた「畠山重忠・重保両公顕彰会」を継承したもので、今年で7年目となりました。

重保公は、鎌倉幕府の有力御家人畠山重忠公の子で、父子ともに政争に巻き込まれ亡くなっていますが、釜利谷地区には父子に関する伝承がいくつか残され、継承されています。

また公の廟所は禅林寺の境外墓地にあり、その中心に高さ約1.1メートルの五輪塔が建てられています。この塔は南北朝時代のものとされ、横浜市に残る安山岩製五輪塔の中でも優品で、平成25年に横浜市の地域史跡に指定されました。

(1) 顕彰墓参会

畠山重保公の命日である6月22日(土)、顕彰墓参会を禅林寺境外廟所にて開催しました。天気が心配されましたが、当文化協会員、地元住民、檀家の方々による準備等も順調に進み、雨が降り出す前に無事終了しました。会は、橘川理事長の挨拶に始まり、禅林寺菊地住職のお話を拝聴し、その後東光禅寺小澤住職のもと参加者全員による般若心経読経、焼香を行ったあと、禅林寺様から頂いたお茶とお菓子でしばし談話し解散しました。



(2) 草取り、清掃

墓参会準備に向けて、また歴史遺跡保存という観点から、5月11日(土)、6月18日(火)に当文化協会有志の方々による草取り、清掃を行いました。枝の伐採、落ち葉の除去、草の根の掘り起こし等例年ない作業となりました。(内園 一廣)

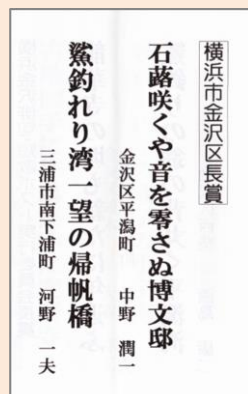


俳句・短歌ポスト表彰(平成31年度・前期)

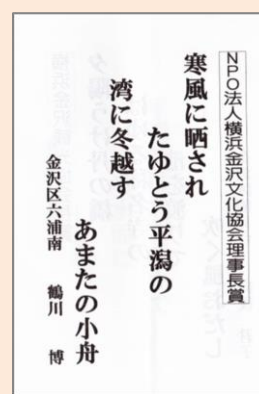
当協会の横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会が主催した第21回表彰式が4月24日(水)金沢区民活動センター会議室で行われた。対象作品は、平成30年9月1日から平成31年2月28日の間に、区内の地区センターや神社仏閣など11か所に設置されたポストに投函され、又は俳句大会等で投稿された俳句189句、短歌30首であった。

その中から“金沢区の花鳥風月”を見事に詠み上げた俳句10句・短歌5首が表彰された。表彰は金沢区長・実行委員長・当文化協会理事長・横浜金沢観光協会会長・横濱金澤シティガイド協会理事長の各賞で、それぞれ俳句2句・短歌1首が選ばれた。表彰された作品は、当文化協会のホームページに掲載されているので参照されたい。(野中 建吾)

表彰俳句の一例



表彰短歌の一例



昔、塩を運んだ“塩の道”を歩く

‘塩の道’を歩くは8月3日(土)に行われました。9時より金沢区役所会議室で、資料映像やテキストにより、金沢区での塩づくりの歴史や塩田による塩の作り方、その塩を鎌倉に運んで交易していたことなどを学習しました。

その後、参加小学生5名と保護者7名は実行委員の案内で鎌倉時代に始まった「塩の道」を歩くに出発。当初の予定通り、「朝夷奈切り通し」を越え、鎌倉・十二所「光触寺」の塩嘗地蔵までのコースを歩き、途中、横濱金澤シティガイド協会スタッフの説明を聞きながら、往時の塩運びの様子に思いを巡らせました。ただ、ここ数年を通して、年々参加者が減少しているのが残念です。

（深津 米男）



塩田による塩づくり教室…今年は台風でやむなく中止に

「塩田による塩づくり教室」は、金沢区地域振興課より区の文化伝承事業として、本協会会員を中心に結成されている「塩田による塩づくり実行委員会」が、その実施について委託されて行っているものです。平成14年に現・本協会相談役の白井俊一さんらの要請に区役所が応えた形でスタートして、今回で第18回目を数える予定でした。

今年度の塩づくり教室は、令和元年7月27日(土)に開催予定とし、実行委員会では今年度から高温注意報が発令された時の対応を含めて5月末から準備を進めてきました。参加希望者も41名と定員近くまで数えました。しかし、突然のように発生した台風6号の接近が予想されやむなく中止となってしまいました。

本来は、自分たちでこの日に作った塩を持って、昔鎌倉へ塩を運んだ‘塩の道’を歩き、十二所「光触寺」の「塩嘗地蔵」に奉納することになっていましたので、後日実行委員が研修を兼ねて塩づくりを行い、持参する塩を準備しました。

（深津 米男）

俳句大会

金沢俳句会では、当文化協会との共催で6月2日(日)、金沢地区センター大会議室で、「第21回金沢区民俳句大会」を開催しました。金沢区内に居住または勤務する俳句愛好家42人が集まり、和気あいあいの内にも真剣に自作の俳句を披露しあい、互選により上位10句が選出され表彰されました。

なお、互選による上位10句は、当文化協会ホームページをご覧ください。（野中 建吾）



短歌大会

金沢区民歌人会では、当文化協会との共催で毎年2回春と秋に、「金沢区民短歌大会」を開催しています。今回は5月26日(日)、八景コミュニティハウスで、12人の短歌愛好者が集い開催しました。参加者は終始和気あいあいの雰囲気の中、互いの作品を忌憚なく推敲・添削しあい、互選により上位作品6首を決定しました。

なお、互選による上位6首は、当文化協会ホームページをご覧ください。

（野中 建吾）



横浜金沢写真連盟・横浜金沢観光協会「合同公募写真展」



2019年1月より、公募展の応募規定を金沢区、磯子区、南区、横須賀市、昨年の応募者、県内の高校、大学、二科会写真部などに配布。応募期限である3月の1か月間に374点の応募作品が集まった。

4月初旬に写真連盟理事長・片岡順一(二科会写真部会員)、副理事長・坂直孝(日本写真作家協会会員)、事務局長・公募展実行委員長・佐野雅子(日本写真作家協会会員)の3名による第1次審査が行われ、金沢部門…58点、自由部門…91点が入選。

6月4日(火)、横浜市民ギャラリー3階展示室に、入選作品を部門に分けて展示。展示が出来たところで、審査員(1次審査と同じ)3名による公開2次審査が開始された。ただし、金沢部門の観光協会会長賞と金沢区区长賞は、片桐為義観光協会会長と國原章弘金沢区区长による事前審査で決定。公開審査はドキドキであり、楽しみでもあり、3人の先生による審査なので公平さがよく分かり、“とても面白い”という感想が多々あった。15時から片岡理事長のギャラリートークを開催。受賞作品を中心に丁寧に講評。皆熱心に聞き入っていた。後日テクノタワーホテルで講演会、表彰式、懇親会が行われ喜びを分かち合った。(佐野雅子)



2019年6月30日開催

金沢吹奏楽団 第48回定期演奏会

満員御礼



48回を迎えた「かなすい」定期演奏会は、お陰様を持ちまして多くのお客様にご来場いただきました。皆様のご厚情に厚く御礼申し上げます。

指揮：波田野直彦、司会：遠藤弘子

演奏曲目：シンフォニア・ノビリッシマ、この道、映画「セデック・バレ」より、フェスティバル・ヴァリエーション、レイモン・ルフェープル・メドレー、キャラバンの到着、魔法使いの弟子、カーペンターズ・フォーエバー

次回：クリスマス・チャリティー・コンサート12月22日(日)金沢公会堂 (寺田早苗)



NPO 法人らしく並木

「埋立前の横浜金沢海岸と埋立 巨大！航空写真展と講演」

NPO 法人らしく並木は、2019年4月20日(土)~5月6日(月)、金沢スポーツセンターロビーにおいて巨大写真展「埋立前の横浜金沢海岸の航空写真」を開催した。

埋め立て直前の金沢海岸の様子を空から捉えたもので、ノリひびの一本一本、波の一波一波、家屋の一軒一軒まで見分けられる精密なもので、見学に訪れた市民からは驚きの声が聞かれた。なお好評につき、写真展示を



1週間延長した。

(平山次清)

NPO 法人らしく並木は、2019年4月27日(土)、金沢スポーツセンター研修室において講演会「埋立前の横浜金沢海岸と埋立」を開催した。

1988年5月に完成記念式典が行われた金沢区の埋め立て地は、金沢区の21%を占める広大なものである。埋め立てに当たっては漁業問題・環境問題などさまざまな問題の解決が必要であったし、埋め立て後の道路・鉄道を含む都市計画も重要であった。これらの解決を含めて現場で体験された田中常義氏(元・横浜市港湾局理事)の講演は、裏話の紹介もあり、会場を埋めた40人の聴衆に大きな感銘を与えた。

(平山次清)



第一回金沢区朗読公演会

令和元年6月19日(ロードクの日)金沢公会堂にて、第一回金沢区朗読公演会を開催。朗読「たちばな」のメンバーを中心に、区内外の朗読者が一堂に会しました。

木遣りで幕開け、民話、文学作品、落語、英語、中国語とバラエティに富んだ15組が参加。

ピアノや篠笛の音にのせて演じ、340名ものお客様にご来場頂き、大好評でした。

(橋 有美)



金沢茶道会 「八景島あじさい祭茶会」

令和元年6月15日(土)・16日(日)の両日、金沢茶道会では八景島客船ターミナルにおいて「第19回八景島あじさい祭茶会」を開催しました。15日は悪天候の中、26名のお客様をお迎えできました事、喜びで一杯でした。16日は、涼やかな風がわたる中、93名とたくさんのお客様に楽しんでいただきました。19回という回を重ね、お客様が、心待ちにしてくださっている事を感じた両日でした。

(田宮初重)



金沢煎茶道会 「三溪園慈善茶会」

平成31年4月14日(日)、星桜が見事に満開の三溪園に於いて金沢煎茶道会協力・ライオンズクラブ主催の第55回慈善茶会が開催されました。春のしつらえの「松香庵流」煎茶席には、青木夙夜の南画「晩春の風景」の軸を。お花は炉均窯の水盤に花海棠・満天星つつじ・都忘れ・樛木忍冬が活けられました。

お客様には宇治の玉露を味わっていただき、そして、松江から取り寄せたすずらんのお菓子を召し上がりながら、春の一日を主と客共に和やかに楽しみました。(坂下文子)



金沢茶道会 「三溪園 新緑の大茶会」

令和元年5月12日(日)、新緑の美しい三溪園の鶴翔閣に於いて、主催：横浜ポートヒルライオンズクラブ、共催：金沢茶道会の新緑の大茶会が開催されました。長沼宗房席では、床には円覚別峰老師筆「萬々歳」と徳利花入を。田宮宗初席では、床には三玄院大真老師筆「一」と七官青磁唐草花入を。薄井宗江席は、床掛物は大徳寺碩應筆「清流無間断」。体験コーナーは初めて香煎席に致しました。笑窪(えくぼ)万頭にぎょくろえんの「あられ」、爽やかな香りを楽しんで頂きました。

(門間美佐子)



金沢三曲会 「第81回研究会」

令和元年6月8日(土)、金沢三曲会は金沢公会堂の講堂において、第81回研究会を開催しました。この研究会は箏、三絃、尺八の合奏勉強と邦楽の調べを区民の皆様楽しんでいただくものでした。

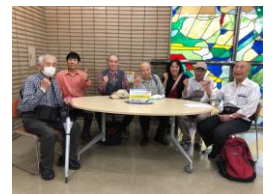
令和になってのはじめての研究会、新金沢公会堂でもはじめてでした。出演者一同はりきって演奏。音響の良さに大感激でした。お客様も「よく聞こえた」「聞きやすかった」との感想。無事終了しました。(佐野史瑞子)



金沢区囲碁連盟 「金沢区民囲碁大会(秋季)」

5月19日に金沢区民囲碁大会が開催され約50人が参加しました。その上位の方々が6月8日に開催された横浜市囲碁大会で金沢区としては久しぶりの2位になりました。10月6日に金沢地区センターで秋季囲碁大会が開催されます。予約なしで参加費1500円、当日9時半受付開始、10時スタートですのでドシドシご参加頂けたらと。

(高橋のりみ)



16年間の集大成

色鉛筆植物画カレンダー が完成

身近な植物の移り変わりを色鉛筆で描きはじめて16年。描いた植物は119品種。集大成で2020年度の植物画暦を制作。B4版の紙の2つ折り型。上半分に各月の代表的な植物の画、下半分に暦の月めくり形。六曜、節気などを記載し、予定も書込み可。背景には薄く植物画。前・翌月の小さな暦も配置。取上げた植物の解説を付録とし、2021年度で採用予定の植物名リストも示した。10月1日にデビュー予定。(川浪 舎人)



第11回 金沢区美術協会 会員展

第11回金沢区美術協会会員展を、5月21日(火)から5月27日(月)まで神奈川区民文化センター「かなっくホールギャラリーA・B」にて開催しました。この美術展は当協会会員の作品発表の場として企画、実施されてきました。今回は出品者数63名で出品数は86点(故北先生の遺作3点含む)で、来場数は530名でした。(大滝 昭平)



第33回 金沢区書道協会 会員展

5月30日(木)から6月3日(月)まで、磯子区民文化センター(杉田劇場)ギャラリーにて行いました。軸装23点、その内8点は区内高等学校生徒によるもの。他に額装16点、机上展示が1点。小品から大作まで、個性あふれるユニークな展示となりました。入場者は4日間で約400名。(千葉 昌子)



第18回 瀬戸神社居合道奉納演武

5月18日に開催された居合道奉納演武は多くの方に見て頂こうと18年前にスタート。神前拝礼の後、奉納演武を開始し10流派約70名(内スウェーデン、フィンランド、ブルガリアから10名)の剣士も加え、日頃の修練を披露。境内は見学者で埋まり、「気合と迫力ある居合道を間近に見られて良かった」など感嘆の声が上がった。(高田 學道)



生涯現役かなざわ会 講演会「身の回りの生活と化学」

5月25日(土)、参加者40名。講師は和田眞氏。和田氏が最初に取り出したのがコーヒーの空き缶。これに水を注ぎ、逆さにすると不思議なことに水が垂れてこない。(実は、缶の底に吸水ポリマーが敷かれていた)次に、この中にパラパラとある物を振り掛けると、今度は水が垂れだした。



(ある物とは、塩だった) 吸水ポリマーは、今では紙おむつや保冷剤などから砂漠の緑化にまで使われている。このように化学は我々の生活に極めて直結している。化学の目を持ち、生き抜く知恵を多くの方に持っていただきたい。(門口 泰宣)

生涯現役かなざわ会 公開講演会 「日本語は面白い～母国語の理解と愛と誇りを～」

7月27日(土)参加者36名。講師葛城峻氏。日本語は難しいが、文法を使って喋っている訳ではなく、自然に身に付いている。日本人は言葉の限界もよく知っている。

日本人は言葉で逆のことを言ったり、言葉では表現できない事を別のものでも表現したりする。耳に聞こえないような言葉で天然・自然の言葉で表現するのがオノマトペ(擬音語・擬声語・擬態語を包括的にいう語)である。(門口 泰宣)



野口英世よこはま顕彰会パネル展 「野口英世と横浜」

7月8日から7月13日に金沢区役所2階区民ギャラリーにてパネル展を行いました。野口英世が明治32(1899)年に、海港検疫医官補として勤務した当時から昭和まで、長浜検疫所には大規模な検疫業務用の建物群が存在した。その様子を、36枚のパネルで展示しました。そして、野口英世博士が晩年、アフリカの地で黄熱病研究に従事したこと、亡くなったあとも現在でも生きている博士の志が、今年も横浜で開催される第7回アフリカ開発会議(8月28日~30日)における野口英世アフリカ賞につながっていることを紹介しました。
(木下 文雄)



**夏休み こども体験教室
~手作り顕微鏡と本物の顕微鏡でミクロの世界を探検しよう!~**

8月3日(土)に長浜ホールにて、こども体験教室(主催:横浜市長浜ホール/野口英世よこはま顕彰会)を行いました。小学生へ野口英世の偉業を伝え、科学する心を養うために顕微鏡を使用して行われる授業で、午前中17名、午後16名の参加がありました。内容は、①野口英世博士の話、②ペットボトルを使っての手作り顕微鏡の製作および観察、③隣接する細菌検査室の見学、④高精度の顕微鏡(倍率40・100・400倍の3種類)でゾウリムシやユリの花粉などの観察を行いました。保護者も多く参加され、皆が夢中になって楽しんで学んでいました。
(木下 文雄)



会員紹介

(邦楽) 渡辺 淳子

結婚を機に金沢区に住んで早や30年。海あり山あり、自然が豊かでとても暮らしやすい金沢区が大好きです。

小さい頃から習っていたお箏、ご縁があって金沢三曲会に入れて頂きました。素敵な仲間と共に学校訪問演奏、地域のボランティアとしていつも楽しく演奏させて頂いています。

和楽器(笛、三弦、尺八)の美しい音色は、心を豊かにします。皆様に楽しんで頂けるように、これからも活動していきたいと思ひます。



賛助会員紹介

はまかぜ新聞社

「洋光台・港南台新聞」として昭和52(1977)年に創刊したタブロイド版地域情報紙「はまかぜ」。

金沢版は、昭和55(1980)年に9万部で創刊しました。以来、地域の皆様にご愛顧・ご愛読いただき、現在5エリア(金沢版、横須賀・三浦・湘南版、さかえ・とつか版、洋港版、中区・西区版)で発行しています。当紙はポスティングで各ご家庭に配布しています。地域の発展とともに、これからも生活情報をお届けしていきます。



文化協会行事予定(令和元年10月～令和2年3月 日程順)

多くの行事は開催日が近づくと文化協会のホームページに詳細案内が掲載されます。また、前回の様子などもあります。

行事名	実施日	実施場所	問合せ電話番号
かねさわ区民コンサート	10月5日	金沢公会堂	771-8783
金沢区民囲碁大会(秋季)	10月6日	金沢地区センター	780-3199
金沢文化芸術祭	10月12日	金沢公会堂	090-1665-9311
朗読「たちばな」第8回 発表会	10月13日	金沢公会堂 多目的室	785-4757
秋のお茶会	10月13日	旧伊藤博文金沢別邸	782-9722
金沢ふれあい文化祭	10月14日	金沢公会堂	785-3506
文化講演会 「手塚治虫」-漫画とアニメの先駆者の思い-	10月19日	金沢公会堂	785-2272
金沢区日本舞踊連盟公演	10月27日	金沢公会堂	783-3008
俳句短歌ポスト表彰式	10月29日	金沢区民活動センター	781-5044
金沢区民俳句(吟行)大会	10月下旬	金沢自然公園(吟行)、ののはな館(句会)	781-5044
金沢自然講座 金沢の植物と自然観察会(5回シリーズ)	11月1日		
かねさわ杯 かるた大会	11月9日	金沢中学校格技場	701-4915
フォーラム KANAZAWA2019	11月16日	金沢区役所	701-4915
野口英世よこはま顕彰会「野口英世フェア」	11月16日	横浜市 長浜ホール	786-4618
金沢区美術協会 金沢区美術展	11月21日～26日	能見台地区センター	771-7543
朗読「橘 有美の一人語り」	11月24日	柳町コミュニティハウス	785-2403
金沢区民短歌大会	11月下旬	八景コミュニティハウス	782-8778
琴アンサンブル金沢桐韻会 35周年箏演奏会	12月1日	横浜市金沢産業振興センター ホール	781-1483
かなすいクリスマス・チャリティー・コンサート	12月22日	金沢公会堂	090-7189-5298
南国忌	2月23日	長昌寺	080-1040-1773
研究会(金沢三曲会)	2月11日	金沢公会堂	781-1483
海苔つくり教室	2月開催	野島公園	788-7801
野口英世よこはま顕彰会「パネル展」	未定	金沢区役所展示スペース	786-4618
金沢区民文化祭(協会会員関係行事)			
民謡のつどい	10月6日	金沢公会堂	788-7806
金沢区音楽のつどい	10月20日	金沢公会堂	788-7806
吟と舞の祭典-20周年記念大会-	10月26日	金沢公会堂	788-7806
金沢三曲演奏会	11月3日	金沢公会堂	788-7806
区民の作品展	11月6日～12日	区民ギャラリー 金沢公会堂	788-7806
華道展	11月9日～10日	金沢地区センター 大会議室	788-7806
茶会	11月10日	金沢地区センター和室、ロビー	788-7806

顧問一覧

小幡 正雄、片岡 順一、木村 久義、国吉 一夫、黒川 澄夫、黒川 勝、佐野 和史、篠原 豪、鈴木 節夫、高井 祿郎、高橋 徳美、竹野内 猛、松崎 淳、松本 純、谷田部 孝一

新会員

(邦楽) 渡辺 淳子、(茶道) 田中 宗美

賛助会員一覧

【法人】

- ・赤ひげ小川笙船法要会
- ・一般社団法人 金沢三師会
- ・医療法人社団 景翠会 金沢病院グループ
- ・医療法人社団 湘南太陽会 鳥居泌尿器科・内科
- ・植周造園株式会社
- ・御菓子司 横浜紅谷
- ・金沢白百合幼稚園
- ・有限会社 清水薬局
- ・白山 東光禅寺
- ・有限会社 オッターブルー
- ・竹嵩山 禅林寺
- ・株式会社 はまかぜ新聞社

【個人】

- ・三本コーヒー 金沢文庫店 芦部 久美子

会報編集委員

編集長 阿部 孝三
副編集長 鈴木 達洋
編集委員 阿部 きみえ、内園 一廣、金間 誠一、川浪 舎人、塚本 眞砂子、宮崎 裕子、渡辺 淳子

編集後記

泥臭くても足元を見据えた手づくりの取組、会報もこれまでいろいろ試行してきました。インターネットとの融合、ネットと無縁な方々への情報発信など、時代の流れとともに、会報として、さらには広報としても課題はたくさんあります。皆さまのご意見を伺いながら一歩一歩、前に進めていこうと考えます。(鈴木達洋)